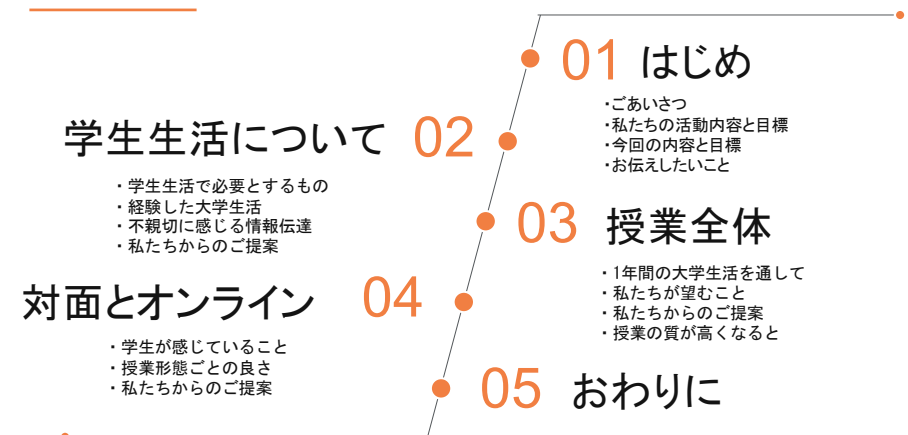




内容



2



ごあいさつ



- 関大をデザインする！？
- 「学生生活をデザインする」という授業を受講
- 学生と教職員の方々と意見を交換する機会が少ない
→有志で結成

4

私たちの目標と活動内容



目標

学生の意見からよりよい学生生活を送ることができるようにすること



活動内容

自らの経験をもとに改善点を議論する
学生と教職員の方々との話し合いの架け橋に

5

今回の内容と目標

・コロナ禍で入学

→オンラインと対面授業を組み合わせた生活

経験からよりよい学習や学生生活のための提案

6

お伝えしたいこと

No.1 人・情報とのつながり

No.2 授業に関する悩み

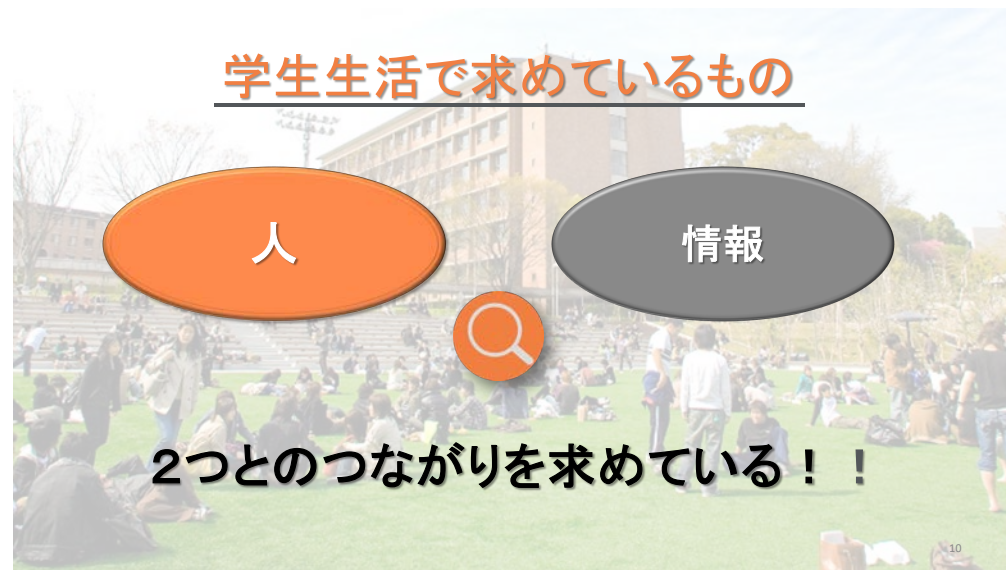
No.3 対面とオンライン



7

今、学生たちは何を求めているのか？

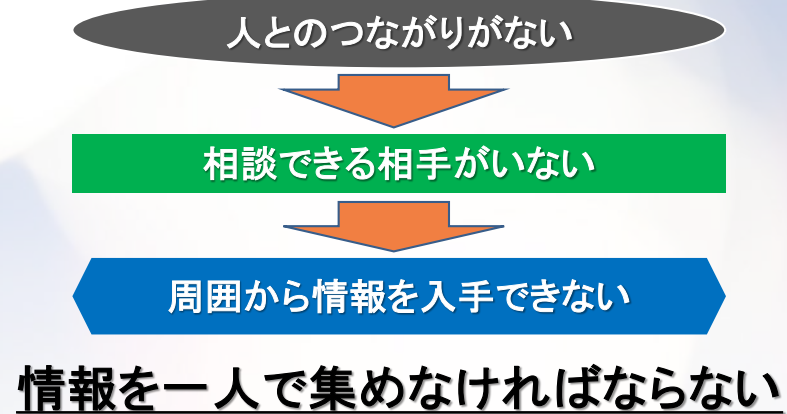
8



経験した大学生活

- 1 新入生オリエンテーションの縮小
 - 2 授業の遠隔化
 - 3 課外活動の自粛 ex) サークル、ボランティア
- ➡ 同級生や先輩方とつながりを得る機会の喪失

経験した大学生活



不親切に感じる情報伝達

 関西大学の
HANDBOOKについて

 非常に分厚い
およそ400ページある

情報量が非常に多い
→使用しづらい

重量もあり持ち運びに向かない



HANDBOOKとスマホの比較

13

 必要な情報を探すことは難しく、時間もかかる

14

私たちからのご提案

 **1 大学から学生同士の交流を促す**
ex.オンラインでの学生交流会
➡ 公式で行うことで、安心して参加できる

 **2 簡易検索システムを作成する**
フローチャート式や条件入力式にすれば、
初めてでも簡単に、時間もほとんどかからない

15

3.rd

はじめ

人・情報とのつながり

授業に関する悩み

対面とオンライン

終わりに

16

1年間の大学生活を通して



成績や理解度に差が出てしまう・・・

17

私たちが望むこと



必修の授業内容の統一



理解度の差の発生防止にも

18

私たちからのご提案

教授同士の交流

- 指導方針の統一ができる
- アンケートを参考に質の高い授業への変更

19

授業の質が高くなると



意欲的に学ぶ学生の増加

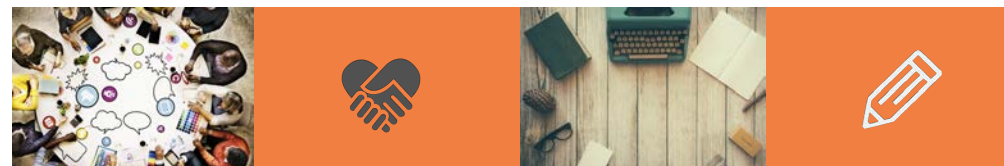


興味・関心の向上

20



感じたこと



▶ 授業形態をその内容に応じて分ける必要がある

- ・知識のインプットは動画配信で十分
- ・対面では双方向のコミュニケーションが求められる

22

授業形態ごとのメリット・デメリット①

・ オンライン授業

※リアルタイム遠隔授業を除く

メリット

- ・効率良く視聴ができる
(巻き戻し・繰り返し・倍速再生が可能であるなど)
- ・質問がしやすい
- ・受講場所を選ばない
- ・感染拡大の防止

デメリット

- ・コミュニケーションが取りにくい
- ・人同士の 物理的、心理的な距離の遠さ
- ・機材や接続トラブルが発生する可能性がある

23

授業形態ごとのメリット・デメリット②

・ 対面授業

メリット

- ・円滑なコミュニケーションが可能
- ・その場の「空気感」を味わえる
- ・人同士の 物理的、心理的な距離感の近さ

デメリット

- ・時間を拘束される
- ・授業が巻き戻せない
- ・感染拡大への懸念

24

対面授業に学生が期待すること

☞「つながり」

☞「コミュニケーションの双方向性」

25

私たちからのご提案

コロナの状況に関係なく
適切な形態での授業実施

- すべての授業で、オンラインと対面の両方で受講できるように、
することも一つの方法(学生個人の事情・ニーズに合わせることもできる)

26

取り上げられなかった意見の一部



人・情報とのつながり

教員・学生間の交流機会が少ない



授業に関する悩み

学生アンケートの意見が反映されていない



対面とオンライン

音質や画質が悪く、内容理解が困難な授業

28



より良い大学生活のために、
・「授業のあり方」
・「既存の制度の見直し」
をして頂けると幸いです



29

ご清聴ありがとうございました

30